

驗作業服手套足袋下駄板裏靴下紙炭布靴手拭等十數種供給するに到つたのである、一方盛んに宣傳演說會を催し、阪本孝三郎氏金子忠吉氏等は遠く山口縣下松或は吳、廣島と宣傳旅行を試み、小冊子フアビアン叢書は金子徳申氏の好意に依つて刊行する事を得、斯くして鐵工組合は内容外觀俱に漸く整備し、確乎不拔半平として抜く可からざる基礎を築くに至つたのである。

### 第七章 普通選舉運動

普通選舉は期成同志會當時より吾徒の主張である。十二月十五日大阪鐵工組合代表者金子忠吉平井榮藏氏等は關西に於ける労働團體代表者五十余名と共に中央公會堂に會合し普通選舉期成に關する協議會を開いた、先づ最初名稱に附き協議の結果、阪本孝三郎氏の發案たる普通選舉期成關西労働聯盟と稱するに決し、運動方法は

演說會 示威行列 請願運動 膝詰談判

等を採用し、實行委員は千名以上の組合から二名千名以下の組合から一名宛

を選び、費用は各組合より組合員數に比例して持寄る事となつた此の協議會は賀川豊彦今井嘉幸兩氏世話役に立ち

鐵心會 曉明會 向上會 友愛會 鐵友會 印友會 新進會 誠友會

大阪鐵工組合 日本労働組合 煉瓦工組合 電工同盟會 労働共益會

友禪工組合 日本労働協會

等参加し、數回相談會を催したる結果、十二月二十四日中央公會堂に於て普通要求労働者大會を催し、越へて大正九年一月京都及び神戸に於て催し更に一月十八日デモンストレーションを行ひ、再び中央公會堂に於て普通要求大演說會を阪本孝三郎氏司會の下に開催し、各團體代表者及び今井嘉幸氏尾崎行雄氏等出演した一方膝詰談判を決定すると共に日本労働黨主催普通要求大會に祝電を發し越へて、二月三日阪本孝三郎氏は普通選舉請願書を携へる八木信一渡邊一平行政長藏氏等と共に盛んなる見送りを受けつゝ東京に急行し、代議士今井嘉幸氏を経て普通請願書を議會に提出し、一方加藤憲政犬養國民兩首領床次内相大岡議長等を訪問し普通選舉を要望し歸阪